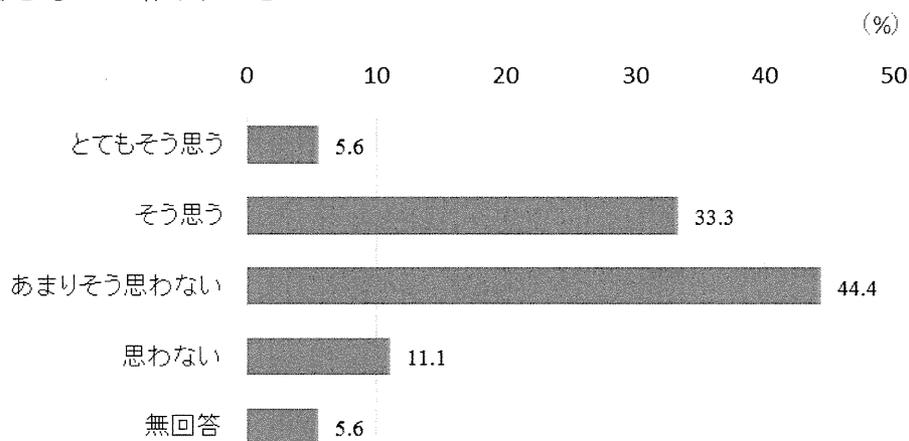


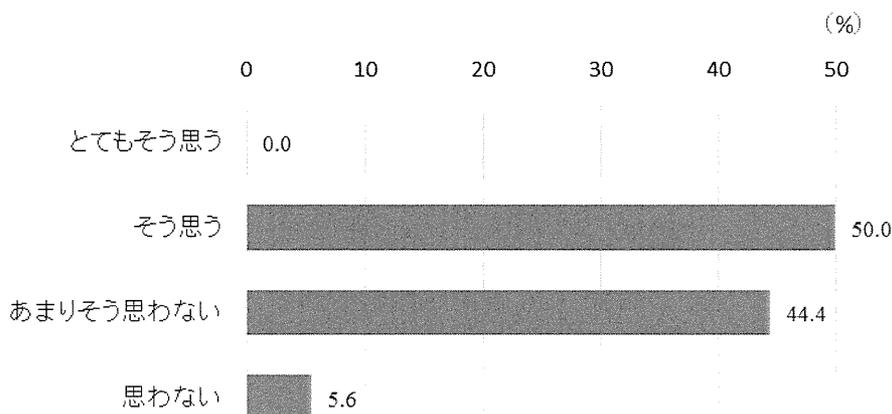
- さまざまな部署の人が参加するため、出席率を上げる事が難しいと感じた。
- 会議当初は、この会議の目的が分からずモヤッとしていたが、回数を重ねる度に介護関係だけの問題ではないと気づき、前向きに会議に出席する事が出来た。
- 多部署の連携により、包括の事業（中山間地域等々）に取り組むことができた。データの活用～課題の抽出、課題の共有、優先的に取り組むべき地域の選定、数値目標設定など、このようにして公衆衛生活動を進めていくのだと、再確認ができました。多部署の連携ができたので、介護予防の取組みが地域づくりの一部として受入れられた。住民の方々の気持ちの変化も体験できた。
- 先生たちと出会えた、それが最大の収穫です
- 参加時刻は守ってほしい。

【問 2】 地域包括ケア推進会議は、どういう場であればと思いますか？以下の該当する数字 1 つに○をつけて下さい。

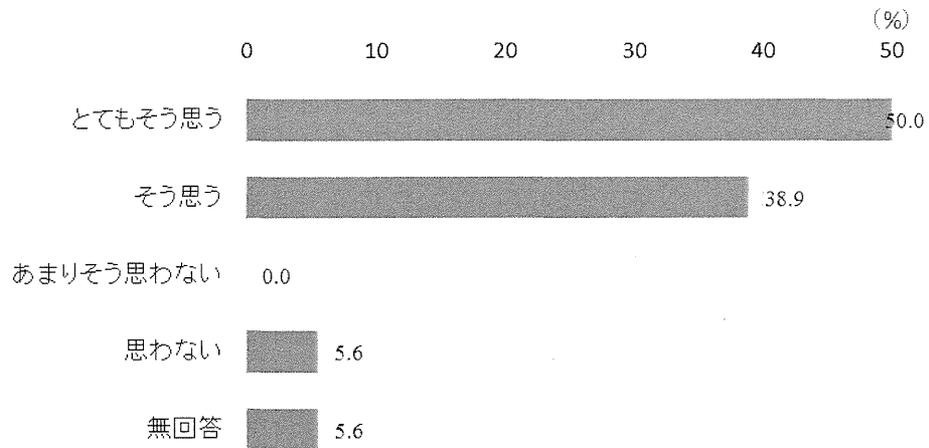
1. 参加部署をもっと増やすべき



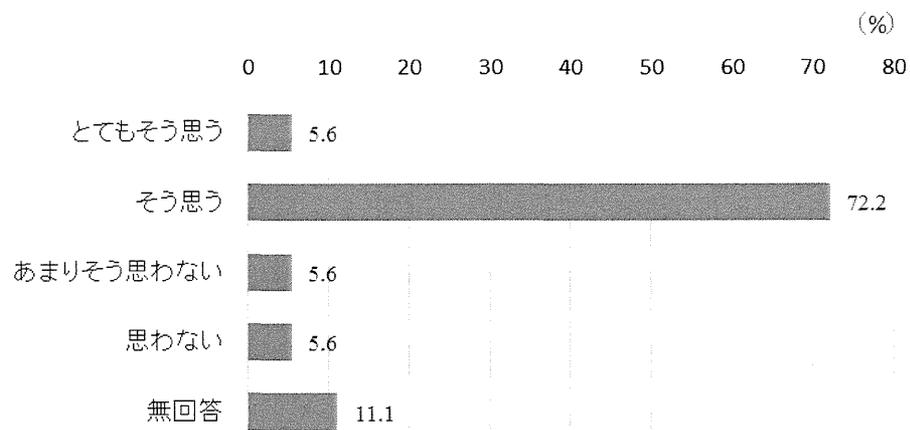
2. 住民組織の代表も時には呼んだ方が良い



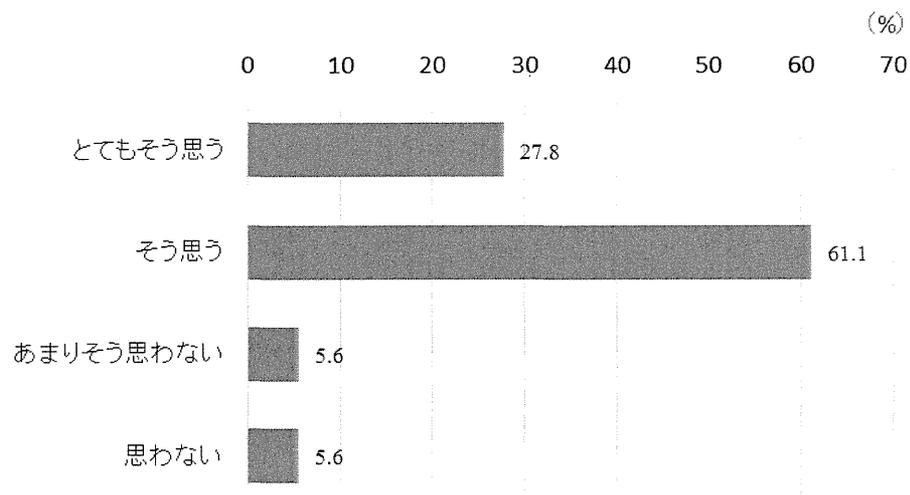
3. この場での議論を役場内にも広く知らせるべき



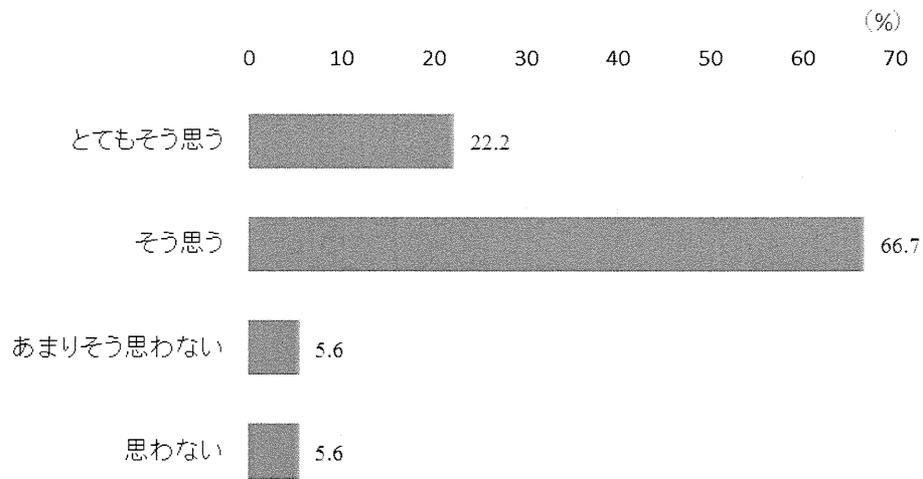
4. この場での議論を住民にも広く知らせるべき



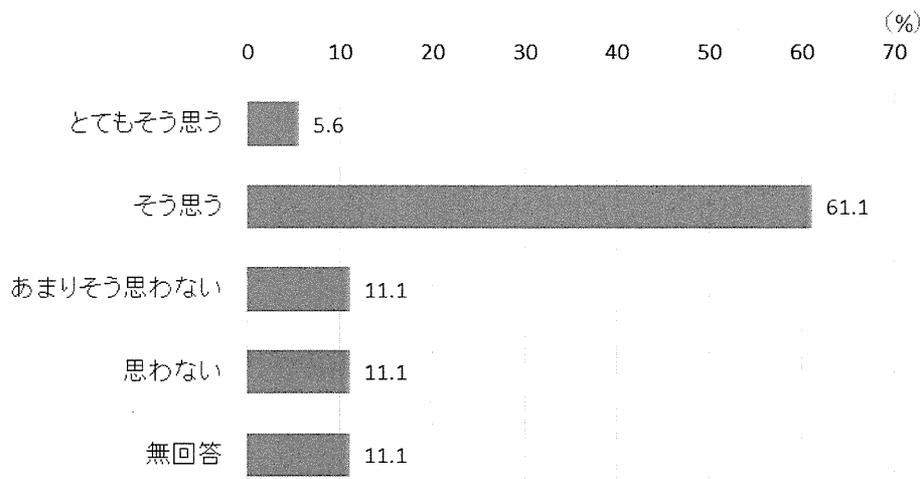
5. 会議メンバーによらず、役場内のいろいろな人が参加できる交流の場があるべき



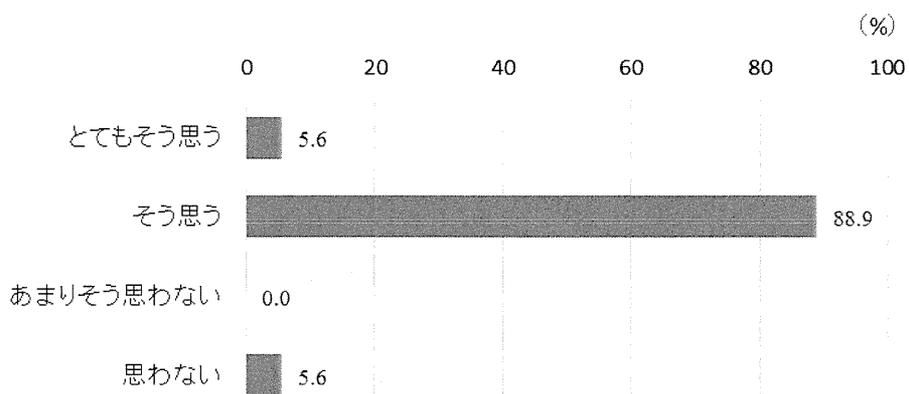
6. 会議の参加メンバーの形式にとられない交流の場があるべき



7. 今のような感じの場で良いと思う。



8. 時間の長さは適切だった



9. その他

- 時間外に飲みながら議論する機会もあるとよいと思う

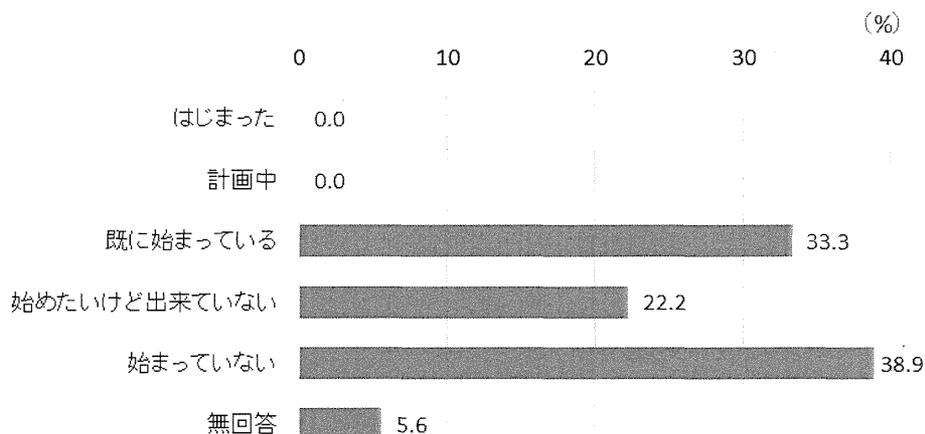
※ 「参加部署をもっと増やすべき」に対して、「とてもそう思う」「そう思う」と回答した方は、具体的にどの部署でしょうか。思いつくところを書いてください。

- 全課。
- 部署にある程度、網羅しているが、係や人を変えたりしてみるとおもしろいと思う。
- 全部署
- 総務課や財政部局
- 部署というより多くの職員が参加するとよいと思う。
- 制限する必要がないから、色々な意見を取り入れるため。
- 総務課、財政係、社会体育係、住民係

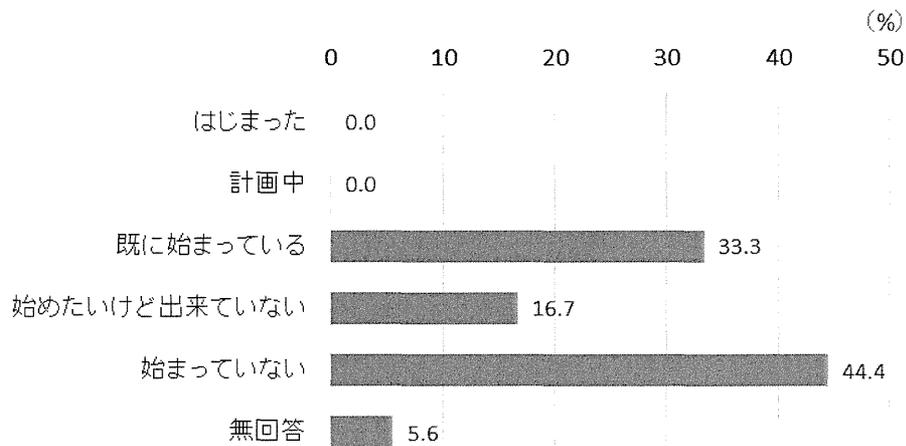
【問3】あなたの所属している課以外の他の課や、役場外の組織全般と、あなたとの連携状況について、おうかがいします。以下の5段階のうち、あてはまる数字1つに○を記入してください。

1) 会議に参加したことで、以下のそれぞれと新たな取り組みが始まりましたか。

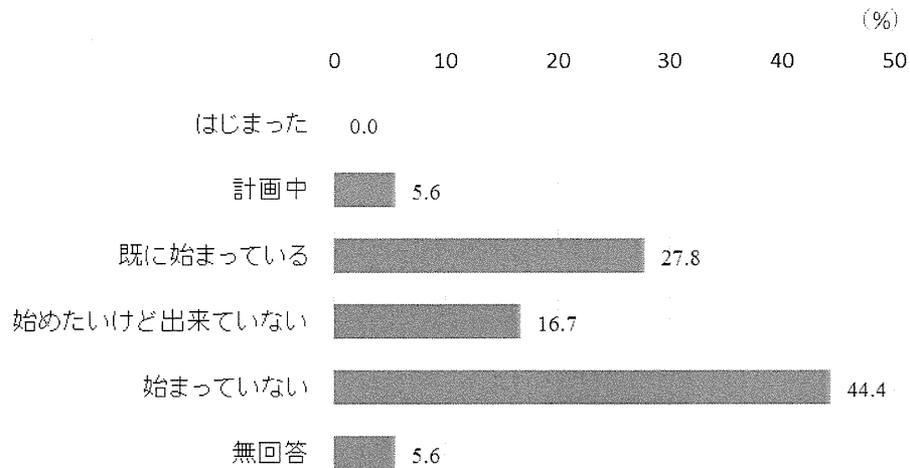
1. 役場内の他の課とは、



2. 役場外の組織（各種協議会・地域包括・NPO など）とは、



3. 住民や住民組織（自治会など）とは、



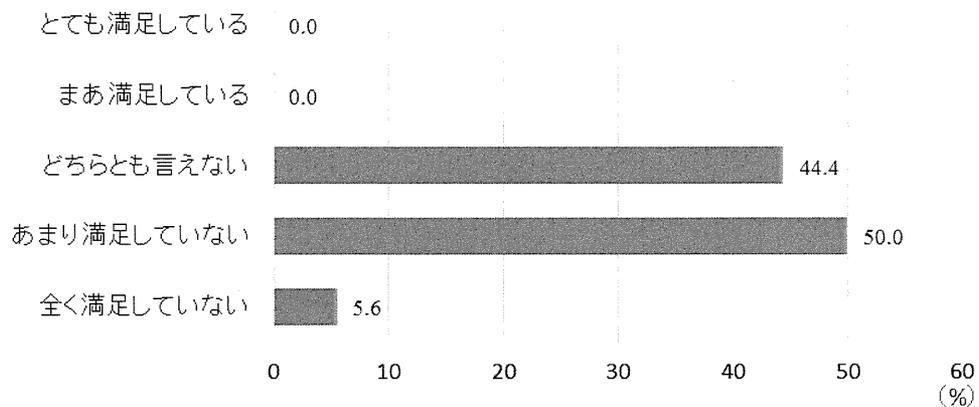
※「はじまった」と回答された方は、具体的な内容を教えてください

- 企画課と連携して水越の支援。
- 社協と連携して水越の支援。
- 水越住民、活性化協議会との連携→ホテルの学校のスタート。

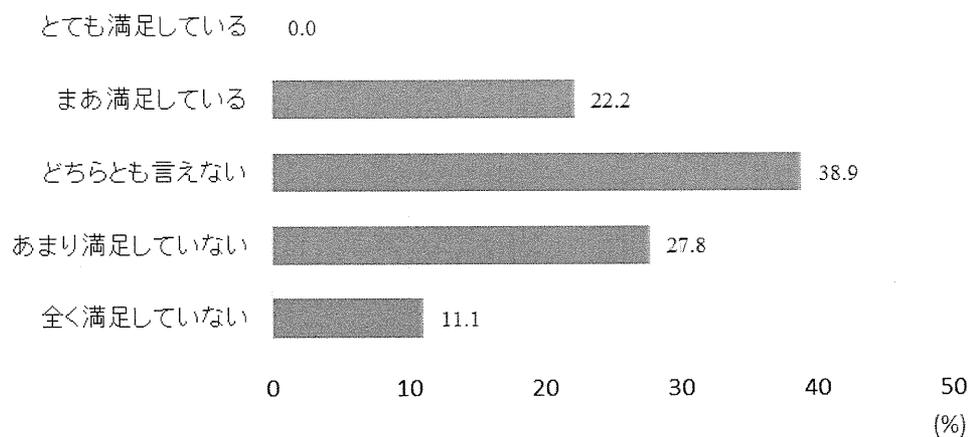
【問 4】 以下は、連携の現状についての質問です。

1) あなたは、以下の部署や組織との連携状況に、満足していますか。あてはまる数字1つ○をつけて下さい。

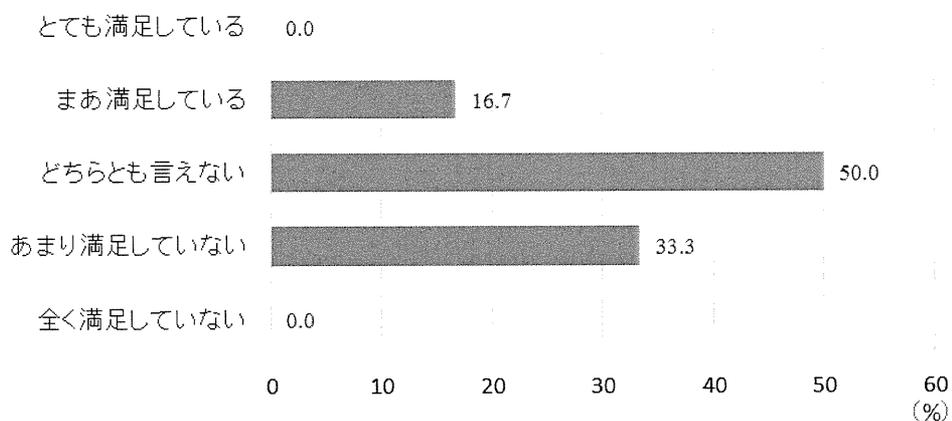
1. 役場内の他の課とは、



2. 役場外の組織（各種協議会・地域包括・NPO など）とは、

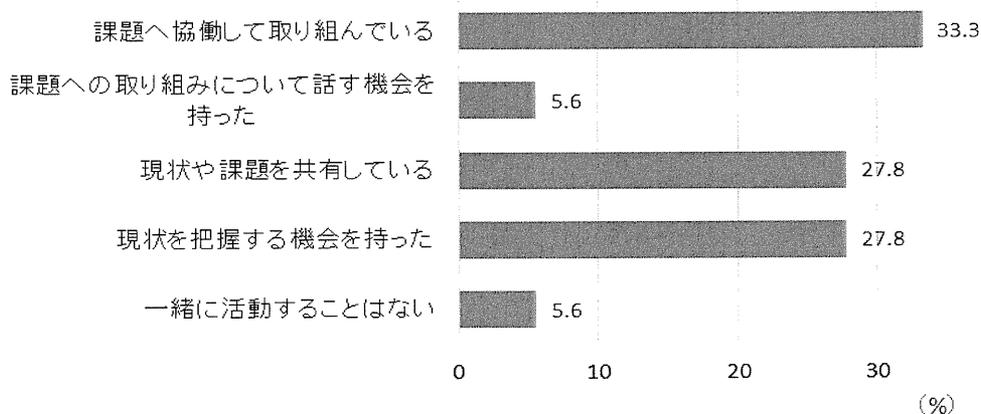


3. 住民や住民組織（自治会など）とは、

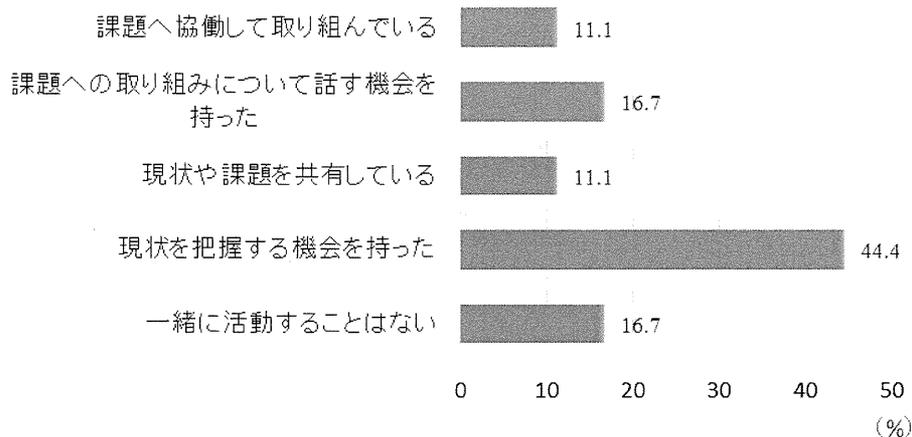


2) あなたと、所属する課内や他の組織全般との、仕事上の協力関係についておうかがいします。あてはまる数字1つに○を記入して下さい。

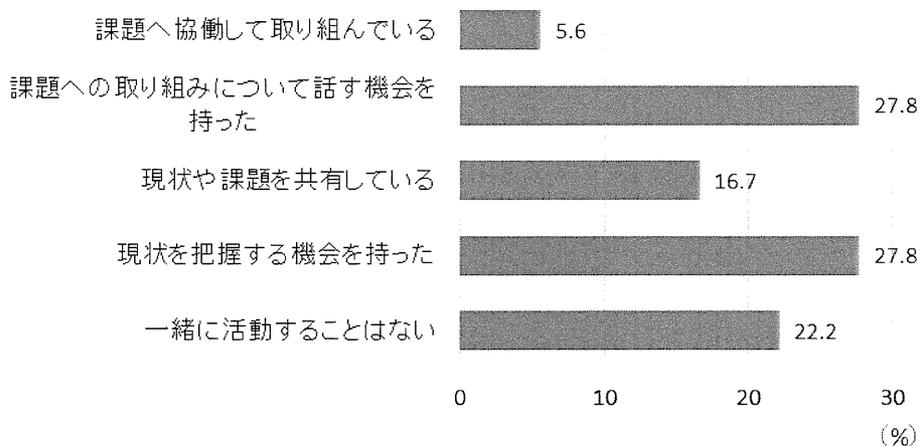
1. あなたが所属する課内では、



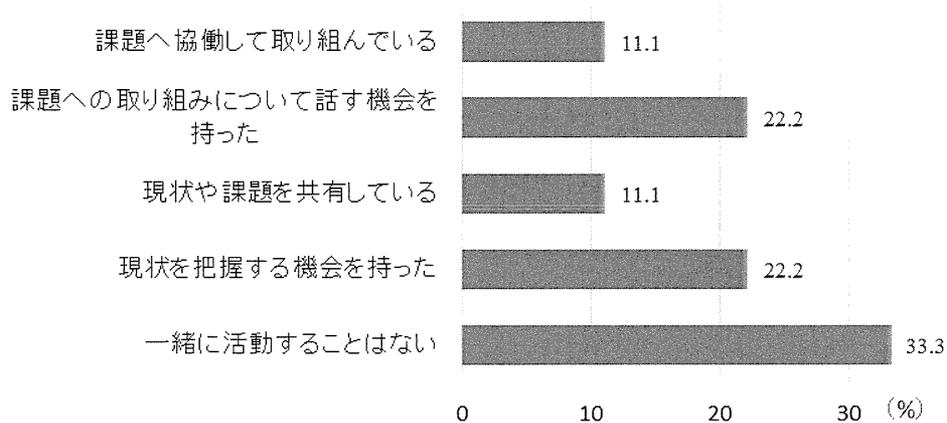
2. 役場内の他の課とは、



3. 役場外の組織（各種協議会・NPOなど）とは、

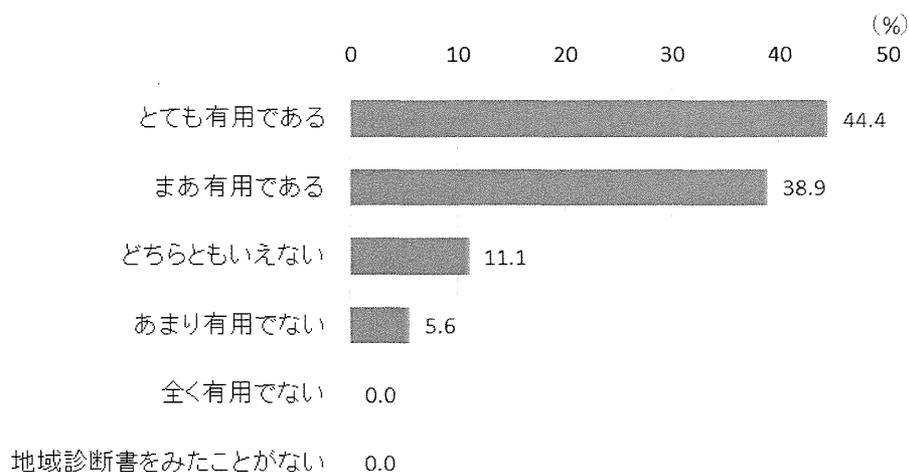


4. 住民や住民組織（自治会など）とは、

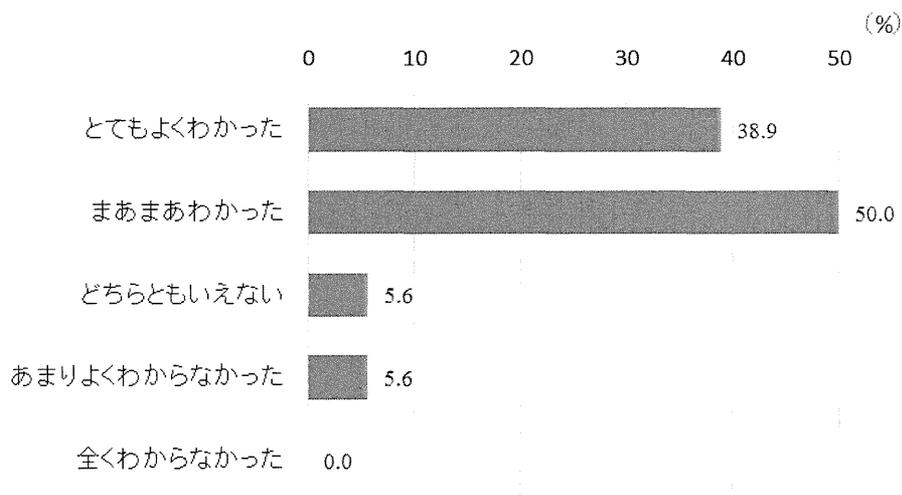


【問 5】地域診断書（会議で使用した「健康とくらしの調査」の資料など）について。

1. 地域診断書は、地域の現状把握にどの程度有用でしたか。あてはまる数字1つに○を記入してください。



2. 分かりやすかったですか。



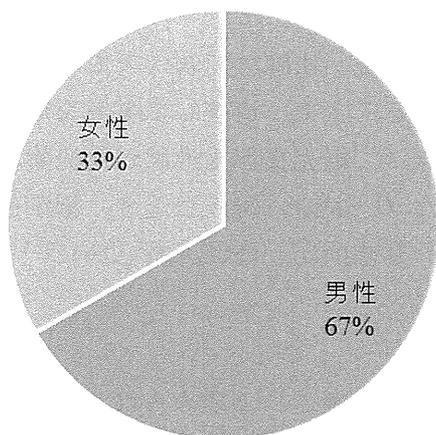
3. 他にどういう資料がほしいですか。自由に書いてください。

- ニーズ調査項目は、全部含めて欲しい。
- 田舎暮らしで困っている事。

【問 6】あなた自身のことについて、おうかがいします。

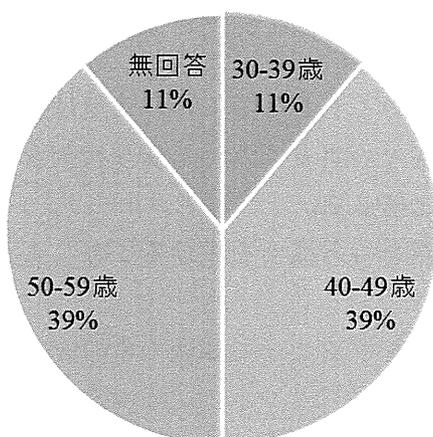
1) 性別

男性 12 名 (66.7%)、女性 6 名 (33.3%)



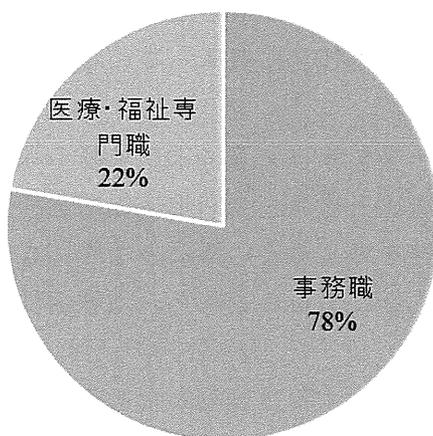
2) 年齢

回答者平均年齢は、男性女性ともに 46 歳、年齢幅は 35 歳～56 歳の方が回答。



3) あなたの職種を次の中から選び、該当する番号 1 つに○を記入してください。

事務職 12 名 (男性 12 名・女性 0 名)、医療福祉専門職 6 名 (男性 2 名・女性 4 名)



【問 7】さまざまな部署の人が連携し、事業を推進する上で、必要と思うこと、また、課題は何でしょうか。実現不可能なことでも、もし〇〇があればと自由に書いてください。

(例えば、××といったような条例を〇〇のように変えた方が良くと思うなど)

- 交流をする余裕を持ちたい。
- 地域包括ケア会議の内容・経過を、他職員に知ってもらう機会をもつ。
- 係や担当者毎で情報を共有することで、連携して事業を進めることができる。例えば、建設課が道路改良工事を行う際に、観光交流推進課が観光案内の看板を設置し、学校教育課は通学路防犯灯を設置するなど、同時に行うことで、掘削や手間の削減につながる。ただし予算の都合上、結構前から計画的にしないと厳しい。
- 他の部署の現状や課題を知る。
- 問題解決のために協議と連携。
- 様々な発想や行動が、きちんと評価され、認められる体質を作るべき。がんばる人を揶揄する風潮がある。地域包括ケアのチームを足がかりにし、何かトップチームを作ったらおもしろいと思います。ただの意見ですが。
- 横の連携、庁舎内における情報の共有。連携して事業に取り組める仕組みづくり。縦割り行政を廃止し横断的な組織とする工夫。
- 自分の枠にとらわれない事。
- 多部署が連携して、何か一つのことをやるということは難しい。今回のように、包括ケアシステムのことを学んで、各々の事業はどのような役割を担っているのかを確認するという形でもよいのではないかと感じる。
- いろんな部署で集まって対話を行う機会を設けること。より多くの人に参加できるものであること。
- 対話をするのが重要。対話をすることで課題の本質を見つけ出すことが重要。

【問 8】他に地域包括ケア推進会議に対してでも、何でもご意見・ご感想があればお書きください。

- この会議で話した内容を委員以外の職員にも知ってもらう。
- 各課との協議の場を設けることが必要かなと思います。お疲れ様でした。
- 今後も、続けてほしい。超高齢化社会に突入している現代において、福祉との連携は、必要不可欠だと思います。
- 地域に出向いて住民とのワークショップ等により地域の課題や強みを吸い上げ役場内で情報共有することができると良いと思う。今回地域包括ケア推進会議に参加して、健康や福祉の視点から自分の担当業務を考える良い機会となり、また他部署の業務においてもすべて深い関わりを持っていることに気付かされた。地域活性化に地域包括ケアの視点が必要であると感じた。
- 仕事に悩んだり、不安になったりする事はみんなあると思います。そんな時に課を越えた仲間からアイデアをもらうというシステム作りのきっかけにこのケア推進会議があったよ

うに思います。勤務時間中はなかなか難しいと思いますが、イントラを上手く活用したりして「〇〇〇で悩んでいます。いいアイデア募集」のように職員全体が和気あいあいとした雰囲気になれば役場全体の力も上がり住民サービスへとつながるのではないのでしょうか？少なくともこの会議に参加した職員ならば、この雰囲気を作りたいと思ったと思います。

- 医療、保健、福祉以外で推進される様々な事業の理解を深める会議となった。企画等で進められてきた地域づくりと、包括ケアシステムの協働は、今後欠かせないものだと実感した。素晴らしい体験ができた。
- この活動を、きちんとまとめ、次につないでいくことも必要と思う。
- このような活動へと支援していただいた先生方に感謝します。

以上

厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）
分担研究報告書

地域における多職種連携推進のための地域診断ツールの開発に関する研究
地域格差・所得階層間格差の視点による優先順位づけ手法の検討

研究協力者 芦田登代 東京大学大学院医学系研究科 特任研究員
研究分担者 尾島俊之 浜松医科大学健康社会医学講座 教授
研究代表者 近藤尚己 東京大学大学院医学系研究科 准教授

研究要旨

【背景】健康日本21（第二次）において、健康寿命の延伸と格差対策の推進が、自治体で取り組むべき目標として掲げられた。しかし、自治体で対策を推進するにも、自治体によって課題は様々であるため、優先順位を付けて課題に取り組む必要がある。

【目的】そこで、健康格差の観点から、課題に優先順位を付けるための地域診断ツールを開発することにした。日本老年学的評価研究（JAGES）のデータを用いて、市町村内の小地域単位および所得階層単位で各指標の年齢調整した集計値を算出し、各市町村内における地域格差・所得階層間格差を計算した。そのうえで、要介護リスク要因に関わる指標との関連を見た。

【結果】例えば、所得階層別の「割合の比」が大きな指標としては、都市部のA市では「抑うつの人割合」の格差（男性4.6倍、女性4.4倍）、農村部のB町では「閉じこもりの人の割合」（男性4.2倍、女性2.1倍）が抽出された。

【まとめ】自治体によって、対策の優先課題は異なっていたが、閉じこもりは抑うつのリスクとなることが知られており、このような心理社会的状況の格差が大きい可能性が示唆された。今回開発した地域診断ツールは、自治体で事業を推進する上での目標値の設定や優先的に取り組むべき対策の検討に活用されることが望まれる。引き続き、自治体職員と議論を重ね、より使いやすいツールへ改善を重ねていく計画である。

A. 研究目的

<背景>

社会経済的な状況によって、健康状態が異なることが明らかになっている。世界保健機構（WHO）は、健康の社会的決定要因に関する委員会を設置し、継続的にモニタリングすることを推奨している。日本では、健康日本21（第二次）において、健康寿命の延伸と格差対策の推進が基本姿勢とされた。取り組むべき健康課題は多岐にわたるため、健康格差

対策にも優先順位付けが必要である。

<研究目的>

そこで本研究は、健康に関連する様々な指標について、市町村内の小地域単位や所得階層単位でのリスク者割合を求め、その格差を算出し、課題の優先順位づけが可能なツールを開発することを目的とした。

B. 研究方法

本報告では、日本老年学的評価研究（Japan Gerontological Evaluation study : JAGES）の調査フィールドである都市部のA市と農村部B町の地域診断結果を紹介する。使用したデータは、日本老年学的評価研究（JAGES）において2013年度に実施した「健康とくらしの調査」である。介護保険における要介護認定を受けていない65歳以上の男女を対象に郵送によって行われた。用いた指標は、日本老年学的評価研究のデータを基にした健康の公平性の評価と対応のためのツール（JAGES HEART¹）で、主要な評価項目として選定されている指標を用いた。用いた指標は以下のとおりである。

用いた指標

▶ 幸福・生活満足

今の生活に満足している人、自分が幸せだと思っている人

▶ 健康リスク

主観的健康感が悪い人、やせの人、うつの人（Geriatric Depression Scale : GDS15項目版で10点以上の人）、物忘れが多いと思う人、1年に1度でも転んだことがある人、歯が1本もない人、IADLが低下している人

▶ 行動リスク

健診未受診者、現在喫煙している人、閉じこもりの人（外出頻度が週1回未満）、ほとんど歩かない人（1日の平均歩行時間30分未満）

▶ 社会参加

ボランティアグループに参加している人、趣味関係のグループに参加している人、スポーツの会に参加している人、老人クラブに参加している人、以上の4つの会のどれかに1つでも参加している人

¹ JAGES HEARTとは、WHOのアーバンハート（Health Equity Assessment and Response Tool : 都市における健康の公平性評価・対応ツール）を日本の高

※ どのグループ参加について、月に1回以上参加している人の割合をとった。

▶ 社会関係

助け合っている人の割合、交流する友人がいる人の割合、一般的信頼（とても信頼できる・まあ信頼できると回答した人）

▶ その他

独居高齢者の割合、貧困者の割合（等価所得120万未満の人の割合）など。

2自治体のそれぞれの概要と調査の方法は、下記のとおりである。調査票の回収数は2014年11月10日時点の数を示している。

A市

市街地や農村地域などが混合した自治体で150万人を超える大都市である。高齢化率は24.3%である。調査は、2013年11月12日～12月2日に実施され、配布数15,705票、回数数11,819（回収率75.3%）であった。

B町

人口1万7千人強の自治体である。恐竜の化石が発見されたことが知られている。高齢化率は27.6%（平成23年3月末時点）である。調査は2013年10月22日～11月11日に実施され、2,000票配布、1,432票が回収された（回収率71.6%）。

各指標は、直接法による年齢構成の標準化を施した（資料1～3）。また前期高齢者・後期高齢者別に層別化した数値も算出した（資料4）。

<格差指標の算出>

各健康格差の程度の把握を容易にするため、今回は解釈が容易な「割合の差」と「割合の

年齢者版としてWHO神戸センターと協働で開発されたものである。

比」を用いた。

(倫理面の配慮)

「健康とくらしの調査」は日本福祉大学の倫理委員会の承認を得て、各自治体との間で定めた個人情報の扱いを遵守している。データの利用について、東京大学の倫理審査で承認を得ている(審査番号10555)。

C. 研究結果

まず、B町の旧小学校区10地区を中山間部と平たん部に分けて検討したのから見ていくと、幸福・生活満足指標について、中山間部と平たん部について男女ともに値の差が大きかった。「今の生活に満足している」は平たん部と中山間部では男性7.21%ポイント、女性7.38%ポイントの差があった(表1)。「自分が幸せだと思っている」は男性8.55%ポイント、女性4.02%ポイントであった。割合の比で見ると、高所得層に対する低所得層の「閉じこもりの人の割合」男性1.57倍、女性1.89倍であった。

表2はB町における所得階層別の、健康とくらしの指標の割合を示したものである。値の差に着目すると、「今の生活に満足している人」の指標の差が大きく、男性13.9%ポイント、女性13.0%ポイントで、差の割合が小さかったものは「老人クラブに参加している人の割合」男性-10.1%ポイント、女性-3.4%ポイント、「助け合っている人の割合」男性-6.2%ポイント、女性3.4%ポイントであった。割合の比についてみると、表1の平坦部と山間部と同様に、「閉じこもり」の割合の差が最も大きく、男性4.26倍、女性2.06倍であった。

資料3は、A市の所得階層別の、健康とくらし指標それぞれの差と比を算出した結果である。割合の差において、高所得者層と低所得者層で大きな差が見られたのは、「今の生活に満足している人の割合」が男性18.1%ポイン

ト、女性15.9%ポイント、「自分が幸せだと思っている人の割合」男性12.1%ポイント、女性8.7%ポイントであった。また、健診未受診の人の割合も、高所得層より低所得層において、男性16.6%、女性9.5%ポイントであった。割合の比で顕著な差があったのを見ると、高所得層に対して低所得層での「うつの人の割合」が男性4.60、女性4.43倍であった。

前期高齢者と後期高齢者に分けて、30自治体間のJAGES-HEART指標における割合の差と割合の比を算出したところ、割合の差が大きかった指標は、「健診未受診者の割合」前期高齢者23.6%ポイント、後期高齢者21.5%ポイント、「スポーツの会参加割合」前期高齢者27.5%ポイント、後期高齢者23.6%ポイント、「趣味の会参加割合」前期高齢者18.5%ポイント、後期高齢者20.4%ポイント、「認知機能低下割合」前期高齢者13.3%ポイント、後期高齢者13.4%ポイントであった。割合の比については、社会参加の指標である「ボランティア参加割合」「スポーツの解散か割合」「趣味の会参加割合」「老人クラブ参加割合」において30自治体間での割合の差が大きく、「趣味の会参加割合」で見ると、参加割合が高い自治体と低い自治体では、前期高齢者4.49倍、後期高齢者4.00倍であった。

D. 考察

生活満足度や健康リスク、社会参加等の様々な「健康とくらし」にかかる指標を使って、地域間格差あるいは所得階層間格差を診断できるツール開発を行った。このツールを用いて、重点的に取り組むべき地域を選定、優先的に取り組むべき課題の検討を自治体職員と議論を重ねた。

今回のツールでは、簡便な格差指標とされる「割合の差」と「割合の比」を算出したが、これらの指標は、回答者数の大きさに影響を

受け、誤差が生じやすいという欠点を持っている。一方、本稿のツールには用いなかったが、回答者の大きさによる誤差を比較的受けにくいとされる格差指標には、格差勾配指数（Slope Index of Inequality : SII）や格差相対指数（Relative Index of Inequality : RII）がある。SIIは「値の差」と類似した解釈が可能であるが平均値の変化の影響を受けやすい。RIIは平均値の変化の調整がされた相対的な指標である。（SIIとRIIを算出したものは、事業評価の目安にさせていただけるように、健康とくらしの調査に参加していただいた自治体関係者の方が閲覧できるホームページに掲載した。）

今回、「割合の差」と「割合の比」を用いた地域診断ツールを紹介したが、自治体によっては回答者数が少ないところもあるので、各指標の長所と短所を把握したうえで、算出された数字を解釈し、地域診断を行う必要があると考えられる。

さらに、今後、「格差」が拡大していくのかどうか、動向をモニタリングすることや、その格差が生じている要因を検討することも併せて行うことが健康格差の縮小・是正するうえで必要なことである。

今回の成果は、両自治体が作成した第6次介護保険事業計画に盛り込まれた。たとえば、B町では、本研究成果を受け、閉じこもりによる健康格差対策として、段階的な目標値を定めた戦略的取り組みを行っていくことが確認された。

<B町の格差対策に関する計画（第6次介護保険事業計画「（健康格差対策の）今後の方針」より引用）>

地域格差について調べたところ最も顕著だったのが平坦部と中山間部の違いであり、社会経済的な背景による違いなど、その他の要

因による格差も平坦部か中山間部かに大きく反映されることから、地域間格差の改善目標については、平坦部と中山間部それぞれの目標を定め、差を縮めていく、という方針としました。特にA町では、全国と比べて格差が大きく、平坦部と中山間部で格差の大きかった「閉じこもり」について目標を絞り対策を立てることとしました。

第6期では、他部署で取組まれる地域づくりと連携して中山間地域を優先的に推進します。特に、中山間部の女性の閉じこもり対策を強化します。第7期には、平坦部での対策を重点的に進めます。この場合も、他部署で取組まれる地域づくりと連携して推進します。

閉じこもり対策として、サロン等通いの場の創設・充実に努めます。通いの場へのアクセス、居住地等を考慮して推進します。見守り等のインフォーマルサービスや会食を含めた交流の機会を増やします。なお、平坦部と中山間部で地域各差があった、IADL、知的能動性の低下については、サロン等の通いの場において、IADL、知的能動性を高めるプログラムの提供を推進します。

本町においては、G地区において中山間部の介護予防・生活支援サービスモデル事業に取り組んでおりますが、モデル事業を通して得られた成果を通して、他の中山間部への展開を図っていきます。

閉じこもりの状況の多自治体との比較（健康とくらしの調査結果）

	前期 高齢者	後期 高齢者	高齢者 全体
御船町	3.50%	11.10%	7.10%
他自治体	2.98%	7.95%	5.20%

①閉じこもり改善目標（前期・後期高齢者別）

	前期 高齢者	後期 高齢者	高齢者 全体
現状	3.50%	11.10%	7.10%
第6期	3.0	10.0	6.0
第7期	2.5	8.9	5.0
第8期	2.0	7.9	4.0

②閉じこもり地域格差改善目標（平坦部・中山間部別）

	前期 高齢者	後期 高齢者	高齢者 全体
現状	6.09%	11.14%	5.05%
第6期	6.0	10.14	4.14
第7期	5.5	9.0	3.5
第8期	5.0	8.0	3.0

E. 結論

様々な指標を用いて、地域比較および所得階層間比較が可能なデータツールを開発した。健康格差の課題の優先順位付けが可能であることが示唆された。

G. 研究発表

1. 芦田登代「健康とソーシャル・キャピタル」
2015年2月21日，新潟大学新潟駅南キャンパス
2. 講演「地域の集いの効果とは」神戸市

波多淡河地区まちづくりボランティア研修会 波多淡河JA会館. 2014年12月3日

3. セミナー講師. 平成26年度 健康づくり事業推進指導者養成研修【テーマ23】
今なぜ、ソーシャルキャピタルか？「ソーシャルキャピタルと地域の健康」「地域づくりによる健康格差対策の進め方」2014年12月1日. 東京都健康プラザ ハイジア.

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし

<引用文献>

- 総務省(2013)「統計で見る市区町村のすがた」
(<http://www.stat.go.jp/data/s-sugata/>) (2015年4月参照)
- 近藤尚己(2014)「地域診断のための健康格差指標の検討とその活用」医療と社会,vol.24, no.1. pp.47-55.

表1 農村部自治体Bの中山間部と平たん部別、健康とくらしの指標の割合 (ver2.0)

		良い割合の指標は青、悪い割合の指標は赤	該当者数		割合		割合の差	割合の比	差・比の取り方		
			中山間部	平たん部	中山間部	平たん部					
生活満足	1	今の生活に満足している人の割合	男女	293	996	74.42%	82.50%	8.08%	1.11	平たん部/中山間部	
			男性	137	460	71.47%	78.68%	7.21%	1.10	平たん部/中山間部	
			女性	156	536	78.23%	85.61%	7.38%	1.09	平たん部/中山間部	
	2	自分が幸せだと思っている人の割合	男女	298	998	83.93%	90.70%	6.78%	1.08	平たん部/中山間部	
			男性	139	462	79.38%	87.99%	8.55%	1.11	平たん部/中山間部	
			女性	159	536	89.01%	93.02%	4.02%	1.05	平たん部/中山間部	
健康リスク	3	主観的健康感が悪い人の割合	男女	300	994	22.66%	17.11%	5.55%	1.32	中山間部/平たん部	
			男性	140	467	25.11%	21.66%	3.45%	1.16	中山間部/平たん部	
			女性	160	527	21.02%	13.09%	7.93%	1.61	中山間部/平たん部	
	4	やせの人の割合	男女	282	972	8.03%	7.10%	0.93%	1.13	中山間部/平たん部	
			男性	130	453	5.23%	5.87%	-0.64%	0.89	中山間部/平たん部	
				女性	152	519	10.48%	8.09%	2.39%	1.30	中山間部/平たん部
				男女	226	845	4.68%	5.02%	-0.34%	0.93	中山間部/平たん部
	5	うつの人割合	男性	112	407	4.16%	5.39%	-1.23%	0.77	中山間部/平たん部	
			女性	114	438	3.77%	4.61%	-0.83%	0.82	中山間部/平たん部	
	6	物忘れが多いと思う人の割合	男女	297	998	10.98%	12.89%	-1.90%	0.85	中山間部/平たん部	
			男性	139	463	14.25%	13.53%	0.72%	1.05	中山間部/平たん部	
			女性	158	535	9.08%	12.20%	-3.12%	0.74	中山間部/平たん部	
	7	1年に1度でも転んだことがある人の割合	男女	295	999	25.53%	23.99%	1.54%	1.06	中山間部/平たん部	
			男性	137	466	23.08%	23.88%	-0.80%	0.97	中山間部/平たん部	
			女性	158	533	28.99%	23.93%	5.06%	1.21	中山間部/平たん部	
	8	歯が1本もない人の割合	男女	291	970	14.96%	11.40%	3.56%	1.31	中山間部/平たん部	
			男性	137	455	14.37%	12.58%	1.79%	1.14	中山間部/平たん部	
				女性	154	515	14.89%	10.41%	4.48%	1.43	中山間部/平たん部
				男女	282	987	9.48%	7.72%	1.77%	1.23	中山間部/平たん部
	9	IADL低下者の割合	男性	131	457	10.26%	8.96%	1.30%	1.15	中山間部/平たん部	
			女性	151	530	10.18%	6.59%	3.59%	1.54	中山間部/平たん部	
	行動リスク	10	健診未受診の人の割合	男女	290	990	24.45%	30.30%	-5.85%	0.81	中山間部/平たん部
				男性	139	458	27.41%	32.13%	-4.73%	0.85	中山間部/平たん部
				女性	151	532	21.67%	28.79%	-7.12%	0.75	中山間部/平たん部
11		現在、喫煙している人の割合	男女	295	1003	11.06%	8.65%	2.41%	1.28	中山間部/平たん部	
			男性	137	466	20.49%	15.73%	4.75%	1.30	中山間部/平たん部	
				女性	158	537	1.46%	2.46%	-1.01%	0.59	中山間部/平たん部
				男女	295	999	11.14%	6.09%	5.05%	1.83	中山間部/平たん部
12		閉じこもり(外出頻度が週1回未満)の人の割合	男性	136	461	9.44%	6.01%	3.43%	1.57	中山間部/平たん部	
			女性	159	538	11.49%	6.07%	5.42%	1.89	中山間部/平たん部	
13		ほとんど歩かない(1日の平均歩行時間30分未満)人の割合	男女	289	992	23.98%	25.60%	-1.62%	0.94	中山間部/平たん部	
			男性	135	464	23.01%	25.23%	-2.22%	0.91	中山間部/平たん部	
				女性	154	528	24.29%	25.88%	-1.59%	0.94	中山間部/平たん部
	男女			219	854	18.49%	15.63%	2.86%	0.85	平たん部/中山間部	
14	ボランティアグループに参加している人の割合(月1回以上)	男性	109	410	19.23%	12.22%	7.01%	0.64	平たん部/中山間部		
		女性	110	444	17.44%	18.91%	-1.48%	1.08	平たん部/中山間部		
15	趣味関係のグループに参加している人の割合	男女	211	873	30.97%	32.35%	-1.38%	1.04	平たん部/中山間部		
		男性	103	411	30.47%	24.68%	5.79%	0.81	平たん部/中山間部		
			女性	108	462	31.98%	39.35%	-7.37%	1.23	平たん部/中山間部	
			男女	233	874	39.61%	29.66%	9.95%	0.75	平たん部/中山間部	
16	スポーツの会に参加している人の割合	男性	113	419	41.35%	30.77%	10.58%	0.74	平たん部/中山間部		
		女性	120	455	38.45%	28.59%	9.86%	0.74	平たん部/中山間部		
17	老人クラブに参加している人の割合	男女	237	892	24.29%	14.55%	9.75%	0.60	平たん部/中山間部		
		男性	113	414	23.27%	7.94%	15.32%	0.34	平たん部/中山間部		
			女性	124	478	25.68%	20.41%	5.28%	0.79	平たん部/中山間部	
			男女	234	897	57.81%	49.22%	8.59%	0.85	平たん部/中山間部	
18	4つの会のどれか1つでも参加している人の割合	男性	112	417	57.35%	44.03%	13.32%	0.77	平たん部/中山間部		
		女性	122	480	58.93%	54.06%	4.87%	0.92	平たん部/中山間部		
社会関係	19	助け合っている人の割合	男女	289	995	56.31%	26.66%	29.65%	0.47	平たん部/中山間部	
			男性	135	462	53.29%	20.65%	32.64%	0.39	平たん部/中山間部	
				女性	154	533	60.21%	32.17%	28.04%	0.53	平たん部/中山間部
				男女	269	950	96.75%	93.12%	3.62%	0.96	平たん部/中山間部
	20	交流する友人がいる人の割合	男性	124	445	94.57%	90.38%	4.20%	0.96	平たん部/中山間部	
			女性	145	505	98.26%	95.69%	2.57%	0.97	平たん部/中山間部	
21	一般的信頼(とても/まあ信用できる) ^{※3}	男女	299	993	79.67%	73.34%	6.33%	0.92	平たん部/中山間部		
		男性	137	459	82.63%	73.16%	9.47%	0.89	平たん部/中山間部		
			女性	162	534	76.85%	73.48%	3.37%	0.96	平たん部/中山間部	
			男女	257	949	13.40%	12.93%	0.47%	1.04	中山間部/平たん部	
22	独居高齢者の割合	男性	124	444	7.80%	7.38%	0.43%	1.06	中山間部/平たん部		
		女性	133	505	17.13%	17.86%	-0.74%	0.96	中山間部/平たん部		
その他	23	貧困者の割合 ^{※4}	男女	221	765	51.76%	23.21%	28.55%	2.23	中山間部/平たん部	
			男女	290	997	46.53%	42.32%	4.21%	1.10	中山間部/平たん部	
	24	経済状況が「苦しい」または「やや苦しい」と回答した人の割合 ^{※5}	男女	230	858	49.93%	23.73%	26.21%	2.10	中山間部/平たん部	
			男女	294	990	73.49%	37.19%	36.30%	1.98	中山間部/平たん部	

※1 中山間部:水越・七瀬・上野・田代東部・田代西部、平たん部:御船・濹尾・木倉・高木・小坂とした。
 ※2 IADL低下者の割合の定義は、次に述べる①-⑤の質問で「はい」を各1点とし、合計3点以下の人のとした。①バスや電車を一人で外出できますか、②日用品の買い物ができますか、③自分で食事の用意ができますか、④請求書の支払いができますか、⑤銀行預金・郵便貯金の出入れが自分でできますか。
 ※3 「あなたの地域の人は、一般的に信用できると思いますか」に対して、「とても信用できる」「まあ信用できる」「どちらともいえない」「あまり信用できない」「全く信用できない」のいずれかを選択する設定になっている。5つの選択肢のうち、「とても信用できる」「まあ信用できる」のいずれかを選んだ人の割合。
 ※4 貧困者の割合は、等価所得120万未満とした。等価所得とは、世帯の所得を世帯人員数の平方根で除いて、一人当たりの所得に相当する値としたもの(水道代など、世帯構成員に共通のコスト分を割り引くために、単純に人数で割るのではなく平方根を用いている)。
 ※5 「あなたの現在の経済的な暮らしの状況を総合的に見て、どう感じていますか。」に対して、「苦しい」「やや苦しい」「ややゆとりがある」「ゆとりがある」のいずれか1つを選択する設定になっている。4つの選択肢のうち、「苦しい」「やや苦しい」のいずれかを選んだ人の割合。
 ※6 「専門・技術職」「管理職」「事務職」「販売・サービス職」「技能・労務職」「農林漁業職」「農林漁業以外の自営職」「その他」に就いたことがないのうら、「技能・労務職」「農林漁業職」のいずれかを選んだ人の割合。

リスク	6	物忘れが多いと思う人の割合	男女	322	376	276	325	14.1%	14.4%	10.7%	11.6%	2.8%	1.24	低所得/高所得
			男性	112	170	155	166	16.4%	17.0%	9.6%	11.9%	5.1%	1.43	低所得/高所得
			女性	210	206	121	159	12.8%	11.7%	12.5%	10.9%	0.8%	1.07	低所得/高所得
	7	1年に1度でも転んだことがある人の割合	男女	322	374	278	324	24.0%	26.1%	23.0%	23.1%	3.0%	1.13	低所得/高所得
			男性	111	169	158	166	26.1%	24.8%	22.1%	22.0%	2.8%	1.13	低所得/高所得
			女性	211	205	120	158	22.7%	27.9%	23.5%	23.5%	4.4%	1.19	低所得/高所得
	8	歯が1本もない人の割合	男女	308	365	274	318	13.0%	14.2%	12.1%	9.4%	4.8%	1.51	低所得/高所得
			男性	107	169	155	162	14.2%	14.6%	12.5%	10.3%	4.3%	1.42	低所得/高所得
			女性	201	196	119	156	12.6%	13.5%	11.9%	8.4%	5.1%	1.61	低所得/高所得
行動リスク	9	健診未受診の人の割合	男女	318	366	278	322	30.5%	32.2%	28.4%	24.2%	8.0%	1.33	低所得/高所得
			男性	109	168	156	165	33.4%	39.1%	26.7%	24.9%	14.2%	1.57	低所得/高所得
			女性	209	198	122	157	29.3%	26.4%	31.3%	23.1%	3.3%	1.14	低所得/高所得
	10	現在、喫煙している人の割合	男女	324	374	278	326	9.9%	10.0%	9.0%	6.9%	3.1%	1.45	低所得/高所得
			男性	110	171	157	166	23.6%	18.2%	15.3%	11.8%	6.4%	1.54	低所得/高所得
			女性	214	203	121	160	2.4%	2.6%	1.0%	1.9%	0.7%	1.37	低所得/高所得
	11	閉じこもり(外出頻度週1回未満)の人の割合	男女	324	375	276	323	10.3%	8.7%	5.0%	3.2%	5.5%	2.72	低所得/高所得
			男性	109	170	155	164	12.4%	9.8%	1.9%	2.3%	7.5%	4.26	低所得/高所得
			女性	215	205	121	159	9.2%	7.4%	10.3%	3.6%	3.8%	2.06	低所得/高所得
12	1日の平均歩行時間30分未満の人の割合	男女	321	369	275	320	27.8%	27.1%	22.5%	24.2%	2.9%	1.12	低所得/高所得	
		男性	111	167	157	165	24.3%	28.7%	22.2%	22.8%	5.9%	1.26	低所得/高所得	
		女性	210	202	118	155	29.5%	25.8%	22.1%	25.7%	0.1%	1.00	低所得/高所得	
社会参加	13	ボランティアグループに参加している人の割合(月に1回以上)	男女	266	290	244	287	12.7%	15.1%	19.2%	18.3%	3.2%	1.21	高所得/低所得
			男性	94	139	137	150	9.9%	15.1%	10.9%	17.1%	2.0%	1.13	高所得/低所得
			女性	162	151	107	137	14.3%	15.1%	31.2%	20.1%	5.0%	1.33	高所得/低所得
	14	趣味関係のグループに参加している人の割合(月に1回以上)	男女	252	299	246	291	31.1%	30.2%	33.8%	35.2%	5.0%	1.17	高所得/低所得
			男性	88	139	139	149	25.1%	26.1%	28.7%	28.3%	2.2%	1.08	高所得/低所得
			女性	164	160	107	142	34.0%	33.9%	39.8%	42.9%	9.0%	1.27	高所得/低所得
	15	スポーツの会に参加している人の割合(月に1回以上)	男女	260	316	245	290	26.6%	31.9%	34.9%	36.2%	4.3%	1.13	高所得/低所得
			男性	93	149	140	151	27.8%	33.6%	33.8%	38.6%	5.0%	1.15	高所得/低所得
			女性	167	167	105	139	25.6%	30.8%	37.0%	33.9%	3.1%	1.10	高所得/低所得
16	老人クラブに参加している人の割合(月に1回以上)	男女	265	323	250	295	16.8%	21.3%	15.4%	13.2%	-8.1%	0.62	高所得/低所得	
		男性	92	145	140	151	11.3%	17.8%	8.5%	7.7%	-10.1%	0.43	高所得/低所得	
		女性	173	178	110	144	20.2%	23.0%	24.7%	19.6%	-3.4%	0.85	高所得/低所得	
17	4つの会のどれかに1つでも参加している人の割合	男女	267	317	253	298	47.4%	50.1%	53.8%	55.4%	5.3%	1.11	高所得/低所得	
		男性	92	145	141	152	39.9%	47.1%	48.5%	52.9%	5.8%	1.12	高所得/低所得	
		女性	175	172	112	146	51.4%	52.6%	59.3%	59.4%	6.8%	1.13	高所得/低所得	
社会関係	18	助け合っている人がいる人の割合	男女	319	368	280	321	31.1%	37.5%	31.8%	31.7%	-5.8%	0.85	高所得/低所得
			男性	107	168	158	165	19.7%	34.4%	25.9%	28.2%	-6.2%	0.82	高所得/低所得
			女性	212	200	122	156	36.9%	40.5%	39.9%	37.1%	-3.4%	0.92	高所得/低所得
	19	交流する友人がいる人の割合	男女	289	359	262	313	92.1%	92.3%	97.6%	94.6%	2.3%	1.02	高所得/低所得
			男性	98	162	150	160	91.1%	87.2%	95.7%	92.2%	5.0%	1.06	高所得/低所得
			女性	191	197	112	153	92.6%	96.7%	100.0%	97.8%	1.1%	1.01	高所得/低所得
	20	一般的信頼(とても/まあ信用できる)	男女	323	372	280	321	72.7%	70.5%	78.7%	79.3%	8.8%	1.12	高所得/低所得
			男性	105	170	158	164	72.6%	70.9%	76.7%	80.3%	9.4%	1.13	高所得/低所得
			女性	218	202	122	157	72.6%	70.2%	81.2%	78.7%	8.5%	1.12	高所得/低所得
その他	21	独居高齢者の割合	男女	296	331	266	317	14.0%	13.7%	17.0%	9.0%	4.7%	1.52	低所得/高所得
			男性	104	154	149	162	9.2%	6.6%	8.1%	7.7%	-1.1%	0.86	低所得/高所得
			女性	192	177	117	155	16.7%	19.6%	28.2%	9.9%	9.7%	1.98	低所得/高所得

調査実施は2013年10月22日～11月11日。配布数2,000、回収1,432(回収率71.6%)。調査方法は1/2無作為抽出。有効回答1,325名分を用いた。
 所得は等価所得を計算し、所得階層は3分位にランク付けした。それぞれのレンジは、第1分位～123.7万円、第2分位～194.5万円、第3分位～919.2万円。
 等価所得の平均値は183.2万円。
 差と比の算出は、無回答者を除いた。

表3 都市部A市の所得階層別、健康とくらしの指標の割合

	良い割合の指標は青、悪い割合の指標は赤		該当者数(人)				割合				割合の差	割合の比	差・比の取り方	
			無回答	所得:低	所得:中	所得:高	無回答	所得:低	所得:中	所得:高				
生活満足・幸福	1 今の生活に満足している人の割合	男女	1,655	3,592	3,201	2,805	77.4%	73.7%	85.8%	90.4%	16.7%	1.23	高所得/低所得	
		男性	564	1,566	1,585	1,384	70.0%	71.0%	84.7%	89.1%	18.1%	1.26	高所得/低所得	
		女性	1,091	2,026	1,616	1,221	81.3%	75.8%	86.8%	91.7%	15.9%	1.21	高所得/低所得	
	2 自分が幸せだと思っている人の割合	男女	1,683	3,633	3,234	2,611	87.0%	85.5%	93.0%	95.5%	10.0%	1.12	高所得/低所得	
		男性	576	1,579	1,592	1,394	83.2%	82.4%	91.6%	94.5%	12.1%	1.15	高所得/低所得	
		女性	1,107	2,054	1,642	1,217	88.9%	87.9%	94.4%	96.6%	8.7%	1.10	高所得/低所得	
健康	3 やせの人の割合	男女	1,642	3,574	3,213	2,602	8.9%	8.2%	7.2%	6.4%	1.8%	1.29	低所得/高所得	
		男性	572	1,561	1,584	1,391	5.7%	6.6%	5.3%	3.8%	2.8%	1.74	低所得/高所得	
		女性	1,070	2,013	1,629	1,211	10.6%	9.5%	9.2%	9.3%	0.2%	1.02	低所得/高所得	
	4 うつの人の割合	男女	1,199	3,035	2,800	2,303	10.4%	12.2%	4.8%	2.7%	9.5%	4.50	低所得/高所得	
		男性	455	1,372	1,430	1,271	13.4%	13.1%	5.4%	2.9%	10.3%	4.60	低所得/高所得	
	5 主観的健康観が良い人の割合	男女	1,652	3,573	3,193	2,578	76.4%	76.7%	84.6%	87.2%	10.4%	1.14	高所得/低所得	
		男性	565	1,552	1,581	1,375	70.1%	73.8%	82.4%	85.4%	11.6%	1.16	高所得/低所得	
	6 物忘れが多いと思う人の割合	男女	1,686	3,642	3,225	2,610	14.8%	18.4%	12.0%	12.3%	6.1%	1.49	低所得/高所得	
		男性	582	1,572	1,591	1,396	15.1%	18.9%	12.6%	12.8%	6.1%	1.48	低所得/高所得	
	7 1年に1度でも転んだことがある人の割合	男女	1,712	3,646	3,235	2,620	27.5%	27.2%	22.1%	20.0%	7.2%	1.36	低所得/高所得	
		男性	585	1,581	1,596	1,398	27.3%	26.0%	20.2%	17.1%	8.9%	1.52	低所得/高所得	
	8 歯が1本もない人の割合	男女	1,635	3,598	3,189	2,584	10.1%	10.7%	7.1%	6.7%	4.0%	1.60	低所得/高所得	
		男性	567	1,570	1,584	1,381	12.6%	14.3%	8.2%	8.2%	6.1%	1.74	低所得/高所得	
	行動	9 健診未受診の人の割合	男女	1,638	3,587	3,216	2,594	52.9%	51.8%	43.8%	38.8%	13.0%	1.34	低所得/高所得
			男性	563	1,565	1,589	1,386	53.4%	53.3%	42.3%	36.7%	16.6%	1.45	低所得/高所得
			女性	1,075	2,022	1,627	1,208	52.5%	50.7%	45.3%	41.2%	9.5%	1.23	低所得/高所得
		10 現在、喫煙している人の割合	男女	1,718	3,650	3,232	2,610	11.6%	12.2%	9.0%	9.8%	2.4%	1.24	低所得/高所得
			男性	590	1,584	1,597	1,394	20.7%	20.8%	15.1%	16.1%	4.6%	1.29	低所得/高所得
11 閉じこもり(外出頻度週1回未満)の人の割合		男女	1,708	3,653	3,230	2,613	5.2%	4.3%	2.4%	2.3%	2.1%	1.91	低所得/高所得	
		男性	585	1,581	1,594	1,390	7.8%	5.0%	2.6%	1.9%	3.2%	2.70	低所得/高所得	
12 1日の平均歩行時間30分以上の人の割合		男女	1,708	3,660	3,234	2,614	74.0%	74.0%	80.2%	80.8%	6.9%	1.09	高所得/低所得	
		男性	584	1,588	1,594	1,396	71.8%	70.2%	80.0%	82.3%	12.1%	1.17	高所得/低所得	
社会参加		13 ボランティアグループに参加している人の割合(月に1回以上)	男女	1,363	3,077	2,857	2,351	12.0%	13.1%	14.6%	14.8%	1.8%	1.13	高所得/低所得
			男性	492	1,356	1,418	1,265	8.9%	10.2%	11.2%	13.1%	2.9%	1.28	高所得/低所得
			女性	871	1,721	1,439	1,086	13.7%	15.4%	18.3%	17.0%	1.6%	1.10	高所得/低所得
		14 趣味関係のグループに参加している人の割合(月に1回以上)	男女	1,406	3,127	2,907	2,408	32.4%	28.7%	40.6%	41.6%	12.9%	1.45	高所得/低所得
			男性	496	1,375	1,431	1,285	23.8%	22.0%	32.8%	34.2%	12.2%	1.55	高所得/低所得
		15 スポーツの会に参加している人の割合(月に1回以上)	男女	1,378	3,083	2,875	2,377	21.9%	19.2%	29.7%	33.5%	14.3%	1.75	高所得/低所得
			男性	499	1,375	1,419	1,278	17.6%	15.2%	26.7%	32.8%	17.6%	2.16	高所得/低所得
		16 老人クラブに参加している人の割合(月に1回以上)	男女	1,417	3,084	2,880	2,376	7.3%	6.0%	6.6%	5.7%	-0.3%	0.95	高所得/低所得
			男性	501	1,366	1,421	1,280	3.9%	3.8%	5.5%	5.6%	1.7%	1.45	高所得/低所得
	17 4つの会のどれかに1つでも参加している人の割合	男女	1,449	3,160	2,948	2,423	44.4%	40.3%	55.0%	57.0%	16.7%	1.41	高所得/低所得	
		男性	504	1,383	1,437	1,293	34.7%	31.8%	47.3%	52.7%	20.8%	1.65	高所得/低所得	
	社会関係	18 助け合っている人がいる人の割合	男女	1,690	3,632	3,232	2,613	10.4%	11.3%	11.3%	10.7%	-0.6%	0.95	高所得/低所得
			男性	565	1,572	1,594	1,391	6.7%	6.5%	6.7%	7.4%	0.9%	1.13	高所得/低所得
			女性	1,125	2,060	1,638	1,222	12.3%	15.0%	15.8%	14.5%	-0.5%	0.97	高所得/低所得
		19 交流する友人がいる人の割合	男女	1,578	3,490	3,158	2,568	87.6%	86.5%	89.2%	90.3%	3.8%	1.04	高所得/低所得
			男性	540	1,519	1,554	1,368	78.5%	78.7%	84.0%	87.1%	8.4%	1.11	高所得/低所得
		20 一般的信頼(とても、まあ信用できる)	男女	1,670	3,612	3,222	2,594	58.8%	57.8%	70.2%	74.4%	16.7%	1.29	高所得/低所得
			男性	570	1,568	1,594	1,384	57.0%	57.2%	68.8%	73.5%	16.3%	1.29	高所得/低所得
その他		21 独居高齢者の割合	男女	1,625	3,505	3,162	2,588	28.3%	25.6%	20.5%	14.2%	11.4%	1.81	低所得/高所得
			男性	549	1,523	1,567	1,389	20.6%	14.7%	11.1%	10.8%	3.9%	1.36	低所得/高所得
			女性	1,076	1,982	1,595	1,199	32.4%	33.9%	30.3%	18.0%	15.9%	1.88	低所得/高所得

調査実施は2013年11月12日～12月2日。配布数15,705、回収11,665(回収率74.4%)。有効回答は11,359名。#カウントしていない(2014年5月時点)
 所得は等価所得(世帯人員数の違いを調整した所得)を計算し、3分位に分けた。
 等価所得の平均値は228.4万円。レンジは、第1分位:0～159.1万円、第2分位:159.2～247.5万円、第3分位247.6～1,300万円。

表4 JAGES参加市町村の2013年度「健康とくらしの調査」の年齢調整集計値と、都市部A市の地域診断結果①

	運動機能低下割合			低栄養割合			口腔機能低下割合			閉じこもり割合			認知機能低下割合		
	前期高齢者	後期高齢者	高齢者全体	前期高齢者	後期高齢者	高齢者全体	前期高齢者	後期高齢者	高齢者全体	前期高齢者	後期高齢者	高齢者全体	前期高齢者	後期高齢者	高齢者全体
1	13.90%	30.10%	20.60%	1.60%	2.90%	2.10%	14.60%	21.50%	17.50%	4.70%	8.70%	6.40%	34.20%	42.60%	37.80%
2	15.60%	29.20%	21.50%	1.10%	1.60%	1.30%	12.00%	22.60%	16.60%	4.00%	8.00%	5.80%	32.60%	43.50%	37.60%
3	16.80%	31.00%	23.90%	1.10%	3.20%	2.20%	17.10%	24.80%	21.00%	4.50%	9.50%	7.10%	35.30%	42.80%	39.10%
4	14.70%	29.50%	21.40%	1.20%	2.30%	1.70%	12.60%	19.40%	15.70%	3.70%	9.00%	6.20%	35.30%	47.50%	41.00%
5	12.30%	32.00%	20.90%	1.30%	1.90%	1.60%	11.50%	19.80%	15.20%	2.80%	9.30%	5.70%	32.40%	45.10%	38.10%
6	13.20%	32.28%	21.57%	1.20%	2.90%	2.00%	11.20%	19.70%	14.90%	1.80%	6.90%	4.10%	33.00%	34.10%	37.60%
7	9.10%	21.60%	13.50%	1.20%	1.70%	1.40%	11.10%	19.60%	14.10%	1.40%	6.60%	3.30%	30.30%	38.70%	33.30%
8	10.10%	22.50%	15.30%	1.30%	2.50%	1.80%	12.50%	18.50%	15.00%	1.90%	5.10%	3.30%	31.00%	37.10%	33.60%
9	12.80%	33.10%	21.00%	1.90%	3.10%	2.40%	11.70%	19.10%	14.80%	2.30%	8.30%	4.80%	28.10%	39.00%	32.80%
10	15.40%	35.90%	27.00%	0.90%	3.70%	2.50%	11.10%	14.50%	13.10%	6.70%	17.70%	13.20%	24.80%	43.40%	35.80%
11	11.80%	24.90%	17.20%	1.60%	2.60%	2.00%	14.00%	19.40%	16.30%	1.90%	4.50%	3.00%	32.90%	38.00%	35.00%
12	12.50%	30.90%	20.30%	1.50%	2.40%	1.90%	13.10%	22.10%	16.90%	1.80%	7.90%	4.40%	31.40%	40.50%	35.30%
13	12.70%	30.00%	19.90%	1.30%	2.30%	1.70%	13.80%	22.90%	17.60%	1.70%	5.40%	3.30%	34.60%	41.70%	37.60%
14	14.50%	33.30%	22.50%	1.60%	2.20%	1.90%	13.50%	23.40%	17.80%	1.80%	6.70%	3.90%	36.70%	46.00%	40.70%
15	12.80%	30.80%	20.00%	1.40%	2.70%	1.90%	11.60%	21.10%	15.50%	1.70%	5.70%	3.30%	33.30%	41.40%	36.70%
16	14.50%	32.20%	21.60%	1.30%	3.40%	2.20%	15.30%	24.20%	18.90%	2.10%	6.30%	3.80%	35.00%	43.90%	38.60%
17	10.80%	26.20%	16.80%	1.50%	2.40%	1.90%	11.30%	19.50%	14.50%	1.20%	5.90%	3.10%	30.10%	43.10%	35.30%
18	10.20%	23.00%	14.60%	0.80%	2.80%	1.50%	11.10%	16.90%	13.10%	1.20%	3.30%	1.90%	29.70%	37.60%	32.50%
19	9.70%	25.40%	15.00%	1.20%	2.60%	1.70%	10.30%	18.60%	13.20%	1.70%	6.40%	3.30%	30.80%	39.70%	33.90%
20	12.10%	28.20%	19.10%	2.00%	2.20%	2.10%	10.30%	18.80%	14.00%	3.50%	7.70%	5.40%	31.50%	44.40%	37.30%
21	8.20%	23.00%	13.40%	1.20%	2.70%	1.70%	9.20%	19.40%	12.90%	1.50%	5.30%	2.90%	30.70%	45.90%	36.30%
22	16.70%	33.10%	24.30%	1.50%	3.20%	2.30%	14.50%	22.20%	18.20%	7.20%	11.70%	9.40%	34.50%	44.70%	39.40%
23	14.80%	33.00%	22.20%	1.10%	2.50%	1.70%	12.40%	22.10%	16.30%	2.10%	9.70%	5.30%	34.40%	41.60%	37.40%
24	11.90%	28.10%	17.40%	1.20%	2.20%	1.60%	12.10%	22.80%	15.80%	2.00%	7.20%	3.80%	32.60%	42.40%	36.00%
25	12.80%	32.60%	22.00%	3.00%	2.50%	2.80%	10.90%	19.60%	15.00%	2.50%	8.60%	5.50%	30.20%	41.20%	35.60%
26	11.60%	27.50%	18.40%	1.30%	2.70%	1.90%	14.80%	22.50%	18.10%	2.10%	5.10%	3.40%	31.60%	38.70%	34.70%
27	16.70%	35.60%	26.80%	2.90%	4.30%	3.60%	15.90%	22.90%	19.60%	9.60%	13.70%	11.80%	30.10%	44.30%	38.00%
28	13.90%	41.20%	25.70%	1.20%	3.90%	2.40%	14.00%	25.90%	19.20%	2.00%	8.20%	4.70%	32.40%	42.00%	36.70%
29	15.60%	35.80%	25.20%	1.60%	3.20%	2.40%	13.10%	21.50%	17.10%	4.40%	9.10%	6.80%	28.70%	38.20%	33.40%
A	12.40%	29.80%	20.50%	1.00%	3.60%	2.20%	7.70%	16.00%	11.60%	3.50%	11.10%	7.10%	23.40%	36.40%	29.60%
平均値	13.00%	30.06%	20.32%	1.43%	2.74%	2.01%	12.48%	20.71%	15.98%	2.98%	7.95%	5.20%	31.72%	41.52%	36.22%
標準偏差	0.0224	0.0443	0.0366	0.0048	0.0062	0.0045	0.0200	0.0254	0.0220	0.0193	0.0286	0.0253	0.0291	0.0316	0.0251
差	-8.60%	-19.60%	-13.60%	-2.20%	-2.70%	-2.30%	-9.40%	-11.40%	-9.40%	-8.40%	-14.40%	-11.30%	-13.30%	-13.40%	-11.40%
比	0.49	0.52	0.50	0.27	0.37	0.36	0.45	0.56	0.55	0.13	0.19	0.14	0.64	0.72	0.72
地域Aと平均値の差	-0.60%	-0.26%	0.18%	-0.43%	0.86%	0.19%	-4.78%	-4.71%	-4.38%	0.52%	3.15%	1.90%	-8.32%	-5.12%	-6.62%
地域Aと平均値の差	地域A-平均値			地域A-平均値			地域A-平均値			地域A-平均値			地域A-平均値		
差・比のとり方	最小値/最大値			最小値/最大値			最小値/最大値			最小値/最大値			最小値/最大値		